

平成30年度 決算特別委員会

平成30年度の主要な施策・事業

- ・町営住宅建替事業
- ・担い手づくり支援住宅建設事業
- ・有害鳥獣対策事業
- ・山の遊び館建設事業
- ・スキー場圧雪車購入事業

決算の概要

・経常収支比率	85・7% (前年83・4%)
・公債費比率	2・6% (前年1・6%)
・実質公債費比率	5・1% (前年4・4%)
歳入決算（一般会計）	
・調定額	31億4098万6836円
・収入済額	31億3189万4155円 (収入割合99・7%)
歳出決算（一般会計）	
・支出済総額	30億 375万8756円
・滞納状況（町税、保険税、貸付金等）	1656万3863円
（対前年度比）	△860万1482円

経常収支比率とは

数値が低いほど団体の財政力が高いことを示す。

公債費比率とは

数値が低いほど借金が少ないことを示す。

実質公債費比率とは

得た収入から借金返済に回したお金の割合を示す。

一般会計

歳入

- 問** 今後の町の財政状況は。
- 答** 令和元年度以降は投資的経費が下がるので、ソフト的事業を中心に効果的運用を進めたい。
- 問** 起債の利子はどのくらいなのか。
- 答** 毎年度の過疎債、一般事業債の借入時期により違う。平成30年度の支払額は980万円程度。
- 問** 町営住宅建替え工事交付金の交付率は。
- 答** 交付率は50%となっている。

歳出

- 総務費**
- 問** 暮らし応援通勤支援給油券の利用者数は。
- 答** 42名の方が利用している。
- 問** マイナンバーカードを取得しないと不都合があるのか。
- 答** 身分証明書にもなるので高齢者の取得者数が多い。国では将来、健康保険証に変わることも検討されている。
- 問** 防犯灯の効果とこれから設置予定は。
- 答** 犯罪などの抑止効果がある。毎年寄贈によって設置している。

衛生費

- 問** 不法投棄監視カメラの効果は。
- 答** 2箇所に設置し、抑止効果は出ている。
- 問** 24時間電話健康相談の実績は。
- 答** 年間19件で内容は医療、育児など。平成30年度からは小児科オンラインも対応している。

農林水産業費

- 問** 民家付近でイノシシなどの被害が発生しているが対策は。
- 答** 電気柵による対策が一番なので、町では4/5助成している。

- 問** 町有林の熊による被害を調査すべきではないか。
- 答** 熊の被害は確認している。

商工費

- 問** 賑わい拠点の従業員は何か。
- 答** 23名で、ファミリーマートを除いて10名です。
- 問** スキー場業務員の町内町外での就労割合は。
- 答** 全員で49名。町外からの就労者は13名で26・5%です。

教育費

- 問** 学校給食の町内産食材の利用状況は。
- 答** 米・野菜・豆腐など利用しているが町内生産量が減少傾向である。

主な質疑